

---

## 「超早産児における臍帯静脈カテーテルの位置異常と関連する因子に関する研究」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。  
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2013年1月1日から2024年12月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、超早産児と診断され、臍帯静脈カテーテル挿入を実施した患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

埼玉医科大学総合医療センターに入院した超早産児を対象に、出生時に挿入された臍帯静脈カテーテルの先端位置が理想的な位置にあったかどうかを確認することを目的としています。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2028年3月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2025年4月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 情報の内容

収集する情報は次の通りです。

研究対象者の背景：在胎期間、出生体重、出生身長、出生頭位、性別、APGARスコア、分娩様式、24時間を超えた破水、絨毛膜羊膜炎、出生前ステロイド、在胎期間に比して低体重、UVC挿入成功までに試みた回数、UVC挿入期間、UVC関連合併症、早産児関連合併症、等

画像検査所見：臍帯静脈カテーテル先端位置

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、個人情報安全管理担当者である赤松 智久が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。

そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

#### 2. 情報の取得方法

超早産児と診断された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

### 3. 情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 難波 文彦（研究代表者）
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 大木葉 博朗
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 西村 恵理
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 村上 未希子
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 藤本 健志
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 廣畑 晃司
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 赤松 智久
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 増谷 聡

### 4. 情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

#### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 小児科 難波 文彦（担当者氏名）

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3622（水土日祝日を除く 9：00～17：00）

メールアドレス：nambaf “AT” saitama-med.ac.jp（“AT” を@に置き換えてください）

○研究課題名：超早産児における臍帯静脈カテーテルの位置異常と関連する因子に関する研究

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター 小児科 難波 文彦